

以前古釜沢を遡行した際は沢に沿って奥まで伸びる林道を加工して入渓点まで戻った。しかし地形図を見ると、古釜沢の西側に今市ダム湖があった。今市ダムは高德から所野へ抜ける道の途中から北へ枝分かれする道の終点にあるダムで、鬼怒川とは全く別の場所と想像していたので、案外近いことに驚いた。同時に一度古釜沢から今市ダムに抜きたいと考えていた。今年のテーマは平日が休みの際は1人でも可能な限り栃木の沢に入ることにしたので、第一弾は古釜沢遡行から今市ダムへ抜けることにした。

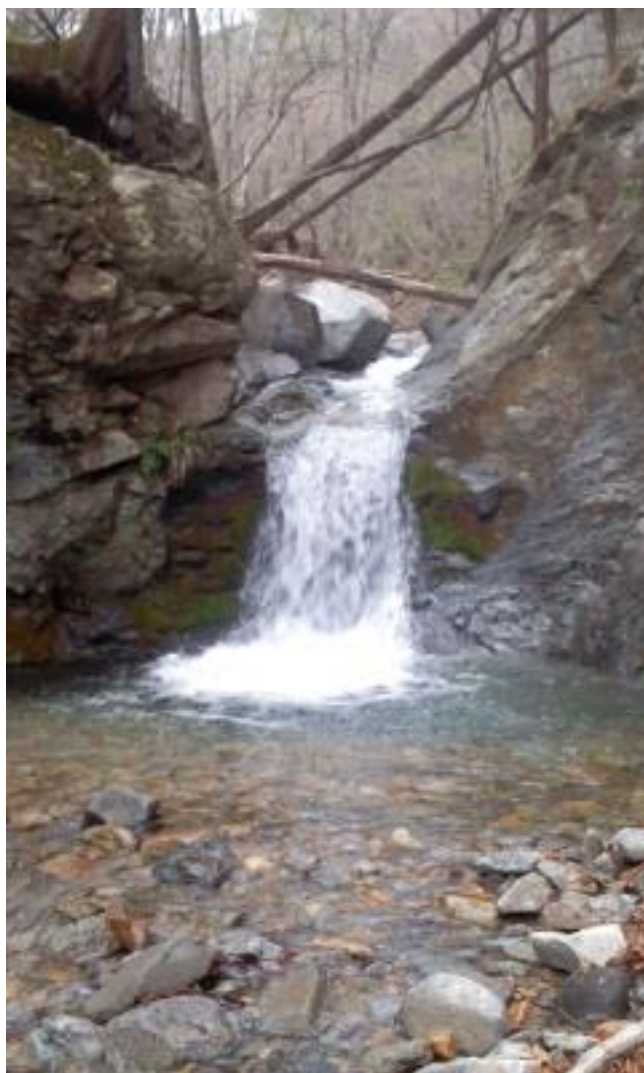
7:30 駐車場発、時間の都合上 F1 を越えたところから入渓した。

F2 は直登は無理そう。右岸の林道へ上がったが、護岸コンクリートの山側も土が流されてくぼんでおり、山側、谷側いずれに落ちても怪我しそうで、綱渡り気分がめまいがした。この場所が最も怖かった。



F3 は釜の右岸側を腰まで水につかりながら進み、向かって左側を直登した。標高 900m

未満で雪がなく、水は全く冷たくなかった。



F4 は滝の向かって左側が階段状で、容易に直登できた。



F4 を越えて歩き続けると、なめが現れた。



9時には標高 600m 地点に到達。ここから西に延びる細い支尾根を登った。支尾根に入っただけのところにやしお桜が咲いていた。



9時30分最高地点の877mピーク着。ここから尾根と送電線を頼りに今市ダムへ下った。途中送電線沿いに南南東へ伸びる尾根に誤って入り込んだが、すぐに気づき分岐点のピークへ戻り西へ向かい送電線を越えて835mピークに至った。そこから854mピークを経て北西に伸びる支尾根を下り、11時にジャジ沢川が今市ダム湖にそそぐところに出た。



ここでヘルメット、ハーネスをはずし沢靴からジョギングシューズに履き替え、鬼怒川の駐車場までおそらく 15 km程のランニング開始。桜と白モクレンが花盛りで、最高のランニングコース。



しかし登山後の長距離ランニングはつらく、最後はほとんど歩きになってしまい、2時間の予定が2時間半かかり、駐車場に戻ったのは14時になってしまった。でも自分の故郷のような日光市で、元地元の地理的關係をを身をもって感じられたことは非常に有意義だった。

